



山田美津代 議員

町の太陽光発電補助金制度 確立を

問 8月26日の再生エネルギー法案成立したことにより、太陽光発電装置を希望する方が資金が足りず断念することのないよう町として、町内業者登録制などをつくり、町内で安心して設置できる環境づくりも整備して、毎月全国でいろいろな市町村が補助金制度をやるところが増えていく中で確立することがいるのではないかと。

平岡町長 国や県が実施している補助金制度の活用をお願いしております。

公共交通について



問 町が6月15日の全員協議会提案した基幹ルートに奈良交通が決まった経過やプロポーザルによる契約の実行されなかった説明と議会の公共交通特別委員会が町民にとってよい良い公共交通を作るために、町も

いっしょに視察研修に行こうと提案したのに行かず静観しているのは行政として無責任では。

平岡町長 基幹ルートに奈良交通が決まったのは、新しい国の補助金制度に当てはまることで自主運行を申し出したため。プロポーザルは議会の承認なしにできないので実行できず、静観しているとの指摘は協議会で協議しているので当たらない。

クリーンセンターの問題点

問 操業して4年が経過し、(株)栗本鐵工所が撤退して、備品や需用費が全額町負担となり、昨年度より1億2,000万円も栗本鐵工所との確約書により増えている。維持費は毎年増える計画で町財政を圧迫するおそれがある。またCO₂の排出量も町全体の施設の6割強を排出しているの、ごみの堆肥化などへの転換を図る必要があるのでは。

平岡町長 栗本鐵工所との約束で15年間の維持管理費を保証している。需用費も21年度より節約できている。熱効率の向上の成果と考えている。ごみを焼却するため発生するCO₂を換算に入れると他の焼却施設よりも少ない。



八尾春雄 議員

馬見北5丁目地区計画について

問 7月17日に地権者による町原案に対する賛否の話し合いがもたれ意見は出尽くした。予定どおり公告縦覧手続きに移ってもらいたい。9月中に都市計画審議会委員対象の会合を持つとの町方針は正式の会議でもなく、さらに地権者間の亀裂を激しくするものだ。8月中に町の方針を示すとの約束も反古にされている。

平岡町長 もう大詰めに来ている。正式の会議ではないが、最終決定のために都計審委員の意見を聞きたい。反対のためにこのような策を講じているものではない。また、異論があつて会合を持つものでもない。

学校給食は地場生産品の拡大を

問 地産地消を進めるために、規模の小さな調理場の方が進めやすい。小規模生産者を組織して、肥料や農薬の管理についても細かく対応し

て、学校給食においても農家が自家生産品を自家消費することのできるだけ近づける努力をしてほしい。

安田教育長 農産物出荷組合の「丸広」と同様な生産組合・出荷組合など、数件組織されれば学校給食において地場農産物の使用は可能だ。地産地消を実践されている朝市に出品する生産者は多いが、個人出品者であり今のままでは難しい。

税金滞納者には礼節ある対応を

問 差し押さえ件数が29件(平成20年度)、166件(同21年度)、232件(同22年度)と急増し県下町村自治体で2位になった。分割納付をお願いに行ったら差し押さえの話が持ち出され不快になった住民がおられる。容赦仮借のない取り立てを改め、礼節をもって対応してほしい。所有財産申告を提出させるのはやり過ぎだ。

理事者 窓口対応は親切丁寧を旨としている。差し押さえはすぐに取り立てずに担保として確保するものだ。

○その他の質問事項

- ・防災倉庫の土地の件について
- ・学校図書館専任図書館司書配置要求の件について